

名古屋の寺院を調べる

出典：『尾張名所図会 前編 卷之二』

明治頃までの名古屋の各寺院についての情報をまとめた資料としては『名古屋市史 社寺編』（名古屋市 1915年）があります。ここでは、『名古屋市史 社寺編』を基にした名古屋の寺院の調べ方などをご紹介します。

1.はじめに 2.名古屋市史資料を調べる 3.参考図書を調べる 4.寺院建築 5.札所巡礼

1. はじめに

手始めに各区の区誌や学校誌などを調べてみます。これらの資料にはその地域の寺院についてわかりやすく書かれていることが多いようです。また、寺院についての情報が簡略にまとめられている資料としては『愛知県歴史全集 寺院篇』（愛知県史誌出版協会編集事務局／編集 愛知県史誌出版協会 1986年）があります。もっと詳しく知りたい場合は、『名古屋市史 社寺編』（名古屋市 1915年 復刻版あり）に記載がないか調べ、さらに同書の各寺院の記述の末尾に参考文献があげられていますので、それらの文献も調べてみます。ただし、活字翻刻されていない文献や所在がわからない文献も含まれています。

！ 江戸時代の寺院の図版を探しているとき

『日本名所風俗図会 6』 林英夫／編 角川書店 1984年

寺院の俯瞰図などを多く含む「尾張名所図会」と「尾張名陽図会」の影印と活字翻刻があり、索引から調べることができます。

！ 寺院名のヨミがわからないとき

『神社・寺院名よみかた辞典』 日外アソシエーツ／編集 日外アソシエーツ 1989年

2. 名古屋市史資料を調べる

名古屋市史編纂係が『名古屋市史』編纂のために明治時代に書写・収集した名古屋市史資料には名古屋の寺院に関するものも含まれています。主な資料としては下記の3つがありますが、これらは『名古屋市史 社寺編』（名古屋市 1915年 復刻版あり）の参考文献としてもあげられています。

『名古屋市史資料影印叢書 名古屋寺院誌』 名古屋市鶴舞中央図書館（製作） 1997年

名古屋市史編纂係による寺院の詳細な調査記録で、調査項目は①山号及寺名、②所在地、③所属宗派（寺格）、④本山本寺名、⑤末寺名及其所在、⑥開基開山及ヒ名僧ノ示寂ト墓所、⑦開基開山世代像有無、⑧法系及世代伝記、⑨古縁起所蔵有無、⑩本堂本尊及其作者説明、⑪本堂以外有名ノ伽藍説明、⑫流行佛及其縁日、⑬宝物、⑭寺内所在ノ有名ノ墓碑、⑮境内・墓地の面積、⑯歴代などです。区別（四区制：東区、西区、中区、南区）の寺名の五十音順に配列されています。

📖『名古屋市史資料影印叢書 名古屋寺社記録集』 名古屋市鶴舞中央図書館（製作） 1997年

寺院の由緒書などの史料を名古屋市史編纂係が書写して集めた資料集です。総目次があります。

📖『名古屋市史資料影印叢書 寺社志』 名古屋市鶴舞中央図書館（製作） 1992年

奥村家所蔵本の写しで、御城下は宗派別、愛知郡・智多郡・春日井郡・丹羽郡・葉栗郡・中島郡・海東郡・海西郡は村別にまとめられています。

3. 参考図書調べる

☆出版年の新しいもの順に並んでいます。ただし、復刻版は初版の発行年を基準に並べています。

📖『日本名刹大事典』 圭室文雄／編 雄山閣出版 1992年

内容	著名な寺院について寺院名、よみ、所在地、宗派、山号、院号、本尊、由緒などがまとめられているほか、参考文献が示されています。
----	---

📖『全国寺院大鑑 上巻』 法蔵館全国寺院大鑑編纂委員会／編集 法蔵館 1991年

内容	市町村別の名簿（寺院名、宗派名、所在地、代表者）です。
----	-----------------------------

📖『愛知県歴史全集 寺院篇』 愛知県史誌出版協会編集事務局／編集 愛知県史誌出版協会 1986年

内容	寺院名、山号、住所、宗派、本尊、由来、寺宝、歴代住職、現住職、年中行事、境内地及び建物面積、写真（白黒）があります。
----	--

📖『日本寺院名鑑 上巻』 日本寺院名鑑刊行会／編 名著普及会 1982年

内容	市町村別の名簿（寺院名、宗派名、所在地、代表者）です。
----	-----------------------------

📖『全国寺院名鑑 中部篇 改定第3版』 全日本仏教会寺院名鑑刊行会／編纂 全日本仏教会 1973年

内容	寺院名、よみ、宗派、所在地、本尊、由緒など、一部の建物・寺宝の写真があります。末尾に寺院名の五十音索引や区・宗派順の名簿があります。
----	--

📖『全国寺院名鑑』 全日本仏教会寺院名鑑刊行会／編 全日本仏教会 1969年

内容	寺院名、よみ、宗派、所在地、本尊、由緒など、一部の建物・寺宝の写真があります。末尾に寺院名の五十音索引や区・宗派順の名簿もがあります。
----	---

📖『日本社寺大観 寺院篇』 日出新聞社／編 日出新聞社 1933年

内容	寺院名、ヨミ、宗派、沿革、堂宇宝物並に境内の状況及び其面積、法会、一部の寺院については写真（白黒）があります。
----	---

📖『全国寺院名鑑』 伊藤由三郎／編輯 全国寺院名鑑発行所 1930年

内容	県別の名簿（ヨミ、寺院名、宗派、寺格、所在地、代表者）です。
----	--------------------------------

📖『大日本寺院総覧 下巻』 堀由蔵／編 名著刊行会 1974年（1916年刊の復刻版）

内容	ヨミ、寺院名、宗派、等級、所在地、一部の寺院については由緒などがあります。また、ごく一部の寺院の写真（白黒）があります。
----	--

📖『金城寺院宝鑑 名古屋案内記』 名古屋朝日新聞社 1915年

内容	名古屋市寺院設立年度一覧表と寺院の簡略な案内、説教場の案内があります。
----	-------------------------------------

◆宗派別の参考図書

📖『愛知県曹洞宗歴任集覧』 川口高風／編 プレコム 1995年

内容	寺院別の愛知県曹洞宗寺院歴代住持と輪任制寺院歴代住持の一覧があります。道号法諱四字による歴代住持の索引からも調べられます。
----	---

📖『愛知県曹洞宗寺院集覧』 川口高風／編著 愛知県郷土資料刊行会 1985年

内容	愛知県曹洞宗寺統譜と愛知県曹洞宗寺院名・山号索引があります。
----	--------------------------------

📖『日蓮宗名古屋寺院名鑑』 日蓮宗名古屋寺院名鑑編集委員会／編 日蓮宗名古屋宗務所 1981年

内容	名古屋の日蓮宗の各寺院について、創立、開山、中興、建物、什宝、年中行事、月例行事、歴代・示寂と解説・写真があります。
----	--

4. 寺院建築

📖『名古屋市の近世社寺建築』 名古屋社寺建造物調査会／編 名古屋市教育委員会 1982年

昭和56年度に残存していた社寺建築についての調査記録で、宗派別・区別に配列されています。

📖『愛知県史 別編 [7] 文化財 1 建造物・史蹟』 愛知県史編さん委員会／編集 愛知県 2006年

名古屋市の寺院建築としては、興正寺五重塔、観音寺多宝塔（荒子観音）、龍泉寺仁王門、瑞泉寺総門、建中寺本堂・総門・三門他、勝鬘寺本堂・山門・太鼓楼、相応寺本堂・鐘楼・総門・山門、笠覆寺本堂・多宝塔の解説があります。

📖『社寺建築の構造 [2]』 花村清隆／著 [花村清隆] 2014年

愛知県・岐阜県の社寺の構造形式や意匠が図入りで説明されています。名古屋市の寺院建築では、妙安寺（弁天堂）、笠覆寺（葉師堂・多宝堂）、定徳寺（番神堂内厨子）、禅養寺（観音堂）、貞祖院（本堂）、建中寺（御霊屋拝殿・開山堂）、観音寺（六角堂・神明社本殿）の解説が掲載されています。

5. 札所巡礼

📖 『名古屋市史 風俗編』 名古屋市 1915年（復刻版あり）

明治時代の年中行事として次のものがあげられています。七福神、六地藏、天満宮二十五箇所、大聖歎喜天十八箇所、金毘羅大権現三十三所、秋葉大権現十八箇所、府下元祖円光大師二十五箇所、当国弘法大師八十八箇所、御城下弘法大師二十一箇所、府下四十八箇所寺、府下三十三所観音、日蓮宗二十八箇所寺、日蓮宗四高祖廻り、阿弥陀如来四十八願所

📖 『名古屋叢書三編 第8巻』 名古屋市蓬左文庫／編 名古屋市教育委員会 1982年

「張府年中行事鈔附録」として壮士健歩を競うための往来順詣などがあげられています。三社詣、尾張風土記云五社、伊勢参宮、参宮坂迎、四観音、六地藏詣、府下六地藏、府下三十六地藏、尾張三十三所観音巡礼、府下三十三所順礼札処、日蓮宗二十八箇所寺参詣処

📖 『百年むかしの名古屋』 名古屋地下鉄振興／編集 名古屋地下鉄振興 1989年

名古屋城下の寺社巡拝についての解説と一覧表があります。四観音、六地藏、七福神、天満宮二十五箇所、大聖歎喜天十八箇所、金毘羅大権現三十三箇所、秋葉大権現十八箇所、府下元祖円光大師二十五箇所、当国弘法大師八十八箇所府内抜抄、城下弘法大師二十一箇所、府下三十三所観音、尾張十大寺、府下四十八箇所寺、日蓮宗二十八箇所寺、日蓮宗四高祖・一木四体尊像、阿弥陀如来四十八願

📖 『全国霊場巡拝事典』 大法輪閣編集部／編 大法輪閣 1997年

全国の観音霊場、弘法大師霊場、不動霊場、薬師霊場、地藏霊場、十三仏霊場、十二支霊場、七福神霊場、特殊な霊場についてまとめられており、名古屋市の寺院が含まれるものとしては次のものがあります。尾張三十三所観音霊場、知多新四国八十八カ所霊場、東海三十六不動尊霊場、東海四十九薬師霊場、なごや七福神、尼寺三十六ヶ所

📖 『全国ふるさと三十三所巡礼辞典』 北川宗忠／編著 サンライズ出版 2009年

県別に古今の三十三所巡礼がまとめられており、尾張地方のものとしては次のものがあります。知多郡三十三所<創生期>、知多郡三十三所<改正期>、知多坂東三十三所、知多秩父三十四所、南知多三十三所、尾張西国三十三所<江戸期>、尾張西国三十三所<昭和期>、名古屋西国三十三所、金毘羅大権現巡拝三十三所、尾張城東西国三十三所、熱田新田西国三十三所

📖 『全国霊場・観音めぐり』 日外アソシエーツ株式会社／編集 日外アソシエーツ 2017年

全国432の霊場について、概要、霊場を構成する札所と所在地、霊場について記述のある参考図書を県別に掲載しています。巻末に寺名・観音名から霊場を引ける「札所索引」があります。

名古屋市内の札所を含む霊場としては、東海三十六不動尊霊場、東海四十九薬師霊場、尾張三十三所観音霊場、知多新四国八十八カ所霊場、なごや七福神が収録されています。